

# 気づき、考え、実行する さし人つうしん

唐津市立佐志小学校  
学校だよりNO.17  
令和4年11月18日  
文責：校長 松野克己

## 「千越し祝い唄」を聞きました

11月12日(土)に黒崎神社境内にある金刀比羅神社の秋季大祭がありました。参詣した後に初めて「千越し祝い唄」の奉納を見せていただきました。この唄は唐津湾内の片口鰯が大量であった際にそれを祝うとともに、海上の無事息災を感謝して歌い継がれてきたものだそうです。この唄のことは以前から聞いていましたが、唄そのものを耳にするのは初めてでした。こういう伝統的な催しを見ると、歴史の重さを感じます。



## 青少年意見発表大会

同じ日の午後には「りふれ」で青少年育成協議会主催による青少年意見発表大会が行われました。

本校から6年生の熊本めいささんが「思いやりと想像力」というタイトルの発表をしました。内容は、SNSによる誹謗中傷や個人情報の拡散を扱ったもので、今の青少年にとってはとても身近な問題です。私たち大人が「なるほど、そうなのか」と学ばされるものでした。発表そのものも、よどみない声ではきはきと発表できていました。



この日の3日前の午後6時から佐志公民館で、佐志校区青少協による研修会があって、そこでもめいささんの発表を聞いていましたので、土曜日の発表も安心して聞いていられました。また、この時は同じく6年生の高崎かざねさんもしっかりした発表をしてくれましたし、佐志中生徒会は「服のカプロジェクト」などの取組を発表してくれました。その後には本校の卒業生の末吉あこさんの佐志食堂に関わったスピーチも聞くことができました。この末吉さんのスピーチは大きな賞をとっており、唐津南高を通る際には横断幕も見られますから、信号で停車したときにはぜひご覧ください。

私たちは子ども達の作文発表を聞く機会がありますが、一般の人はあまりないことだと思います。しかし、大人とは違う子供ならではの感性や価値観に触れることができます。こういう機会があれば、聞いてみてはいかがでしょうか。

※写真は佐志公民館であった研修会のものです。



## お知らせ

### ① 佐志校区文化祭

コロナ感染防止のため、作品展示だけを佐志公民館で行います。

11月19日(土)、21日(月)、22日(火)の3日間です。小学校からは唐津市教育文化祭で展示していた作品を出品しますので、ぜひご覧ください。19日(土)は佐志食堂もひらかれます。

### ② バイオマス秋祭り

20日(日)はバイオマス秋祭りがファミマ佐志店上の建設予定地で行われます。佐志小は10時20分頃、運動会で踊った1年生のダンス「サチアレ」と3・4年生のソーランを披露します。

露店、抽選会などもあります。

# 5年生自然体験学習

11月10日(木)から1泊2日で5年生が自然体験学習を行いました。この行事は元々7月上旬を予定していたのですが、この時期、新型コロナの拡大があったため、延期にしていました。今回はその時に比べると落ち着いた状況でしたから、予定通り泊付きで行いました。場所は波戸岬少年自然の家です。佐志小からはバスで30分もかかりません。学校で給食を食べた後に出発し、到着後、入所式をして焼き杉体験をしました。耳慣れない言葉ですが、杉の板をバーナーで焼いて黒くし、すすを取り除いた後に文字やイラストを描き込み、プレートにするものです。初めてバーナーを触る子も多く、おっかなびっくりの様子でしたし、炎がはっきりとは見えないため、他の人に向けそうになる子もいましたが、手順に



沿って楽しく活動ができました。

その後、夕べの集いという外での集会でした。この日は糸島の深江小と2校の利用でしたが、残念ながらこの時の集団行動はこの深江小の方がよかったですね。5時過ぎからはいつもより早い夕食。元々バイキング方式がこの施設のセールスポイントだったのですが、コロナの影響で給食同様の感じてした。お楽しみ集会を1時間ほど楽しんだ後、入浴となりました。靴箱をロッカーと間違えて荷物を入れる子、マスクをしたままお風呂に入ろうとする子、部屋に着替えを忘れて慌てて取りに戻る子、お風呂に飛び込んで注意される子、着替えたパンツをそのまま置いていこうとする子、まあ、いろいろありました。10時半には完全就寝でしたが、眠れないのでしょうか、夜中の1時頃まではドアを開けたりおしゃべりしたりする音が聞かれました。迷惑をかけるほどではなかったのですが大目に見ましたが・・・。



翌日の起床後は、部屋の片付け、朝の集い、朝食、野外炊飯、磯遊びと活動を行いました。私はこの日、佐賀市の会議に出席するため、寝不足の目をこすりながら、野外炊飯のスタートとともに施設を後にしました。この自然体験学習、これまで真夏に実施することが多かったのですが、なにぶん熱中症防止の対策が大変でした。また、すぐに汗をかくので多めに着替えを持ってこさせたり、虫除けが必要だったり、暑くて眠れない子がいたりして、終わった後は引率の職員がグタグタになっていました。しかし、今回は、11月に実施することになり、これらの準備や心配がほとんどありませんでした。他の行事との関わりもありますが、来年度も真夏を避ける日程を考えたいと思います。

# 土建業体験

これは私自身初めて見る企画でした。11月14日(月)に4年生と6年生がキャリア教育の一環として土木業体験を行いました。県建設業協会青年部の企画として2校限定の募集に選ばれたわけです。土建業に対する理解を深めるための座学も体育館でありましたが、その後は運動場で様々な建設機械に乗せてもらいました。驚いたのは操縦までさせていただいたこと。係の方によると、そこまでやってもらうことで興味が強くなるからということでした。いい体験をさせていただきました。この様子は「ぴーぷる放送アーカイブス」で見ることができます。

